ビジュアルコミュニケーションシステム

Live On®

ビジュアルコミュニケーションシステム LiveOn 導入事例

静岡県駿東郡小山町 様

DXイベント「小山町DX DAY」をLiveOnでライブ配信。
マルチタスク車両での遠隔相談窓口のデモも実施し
さまざまな角度からDXを体感

企画総務部 企画政策課 課長　勝又 徳之様（写真：中）
企画班 行政改革担当　副主任　菅野 桂太様（写真：左）
ICT政策担当　主査　西野 圭亮様（写真：右）

利用目的	業　種	社員規模
社内イベント 相談窓口 授業・セミナー配信	官公庁	100～500名

導入前の課題

- 相談窓口を遠隔対応することで町民の移動負担の軽減・業務の効率化を進めたい
- イベント参加できない町民の方にも情報発信したい

LiveOnで解決！

- 遠隔相談窓口の体験デモにより町民の方の理解度が深化
- ライブ配信で「場所を問わない情報発信」というDXのメリットを体現

イベント概要

小山町では令和4年（2022年）3月に「小山町デジタル・トランスフォーメーション（DX）ガイドライン」を策定。基本理念を「デジタルで人と地域が〈つながる〉まち小山町」と定めてDXを推進している。今回町民の方々がICTについて学ぶ機会を提供すると共に、町で推進しているDXやそのための人材育成研修の成果を発表する場として、国が定めるデジタルの日に合わせて同年10月2日「小山町DX DAY」を開催した。

イベント開催に当たっての課題

申請・相談窓口のDXにより効率化を進める必要がある

小山町は町域が広く、各所に支所を配置して行政サービスを提供している。しかしこの先人口減少を迎えていく中で、必ずしも現行の体制による行政サービス提供がベストとは言えなくなる可能性がある。役場のリソースにも限界があるため、申請・相談窓口のDXによって効率を上げる必要がある。

イベント参加できない方に対しても情報発信が必要

イベントによっては来場が難しい場合があり、人が集まるところには行きたくないと考える方もおられる。さまざまな理由でイベント参加ができない方に対する情報発信の方法を開発していくことが望まれる。

LiveOn選定の決め手

通信量を抑えて高品質な配信・通話が可能

当町エリアでは通信環境が比較的不安定なエリアもある。そのような現状を考慮すると、通信量を抑えながらも高い対話品質を保つことができるのが大きな選定ポイントの1つになった。

タッチパネル式モニターも同時に提供され導入が容易

窓口デモ向けに、利用者が操作するタッチパネル式モニターも同時に提供いただける点も評価した。当町で準備する機器類が必要最低限で済み、利活用する側の自治体としても容易に導入できる。

ライブ配信ほぼすべてをお任せできるほどの充実したサポート体制

今回、デモやライブ配信で充実したサポートをいただけることも採択要因となった。ライブ配信では、撮影やディレクションなどほぼすべてを安心してお任せでき、充実した内容を配信することができた。

オンプレミス型＆純国産で高いセキュリティ性を確保できる

LGWAN（総合行政ネットワーク）上にオンプレミス型で導入できる点もLiveOnを採択した理由だ。将来的に当町でさらに活用する時、各支所との会議などをLiveOnに置き換えることで効率化が可能になる。そうなればセキュリティに配慮してLGWANへオンプレミス型で導入することになり、それに対応できるLiveOnが選択肢となる。さらに純国産なので安心して利用できるのもポイントだ。

ご活用用途

タッチパネル式モニターを通じた遠隔相談窓口を体験

イベントではさまざまな用途で活用できる、MONET Technologiesの「マルチタスク車両」を展示。同車両内で遠隔相談システム「LiveOn Call」を使い、カメラ付きタッチパネル式モニターを通じた遠隔相談窓口の接続体験を実施した。画面共有機能や書画カメラによる手元資料を共有しながらでも相談できることなどを体験いただいた。

イベントの各プログラムを番組形式でライブ配信

その他にも、デマンドバスの展示やプログラミング教室の活動成果発表、行政DX座談会、ドローン操作体験などさまざまなプログラムを実施した。当日のプログラムの模様を「LiveOn」を使ってライブ配信。イベントでは紹介が難しいドローン活用の映像も紹介するなど、生の臨場感を伝えながらも、工夫をこらした内容で配信することができた。

導入後の効果・感想

遠隔相談窓口の体験により町民の方の理解度が深まる

今回デモ環境で体験できたことで町民の方の理解も深まったのではないか。町民の方からは「子どもがいると移動が大変。『行かない窓口』が取り入れられると良い」「遠隔相談システムの操作も思ったより簡単だった」などの感想を頂いている。

「場所を問わない情報発信」というデジタル利用のメリットを体現

ライブ配信では、「場所を問わずに情報発信できる」というデジタル活用のメリットを十分に活用することができた。言葉や写真などよりリアルに伝わったのではないだろうか。イベントの模様はアーカイブとして保存し、さまざまな場面で有効活用できる。また、映像配信のほぼすべてをJMSにお任せしたが、その結果は非常に見事だった。また、途切れたりすることなくコミュニケーションや情報発信ができ、安心して利用できたのも大きな成果だ。

LiveOnを活用した今後の事業展開など

行政窓口のデジタル化と非常に相性の良いLiveOn

行政サービスのデジタル完結を目指してDXを進める中で、「行政窓口」では「書かない窓口」「行かない窓口」が目指す姿となる。スマホなどでの操作方法が分からない場合には、LiveOnで説明したり、画面や資料を共有しながら説明したりすることができるので、非常に相性の良いシステムだ。

MaaS実証実験など今後も積極的かつ具体的にDXを推進

今後、役場内のDX人材育成やLiveOnのようなデジタルツールを活用することで、デジタル化による業務効率化や行政サービスの向上に取り組んでいくと共に、、町を挙げてDXを進めていく。具体的には、まず今回のDX DAYの内容を踏まえたMaaSの実証実験に着手する。デマンドバスの進化系として移動図書館や移動ドラッグストアなどの機能を持たせたMaaSの実験だ。その他スマートロックを使った公共施設の予約システムの導入も検討する。

静岡県駿東郡小山町

町役場所在地：静岡県駿東郡小山町藤曲57-2
職員数　：222人（2019年4月1日現在）
面積　：135.74㎢
人口　：17,614人（2022年12月1日現在）
世帯数　：7,561世帯（2022年12月1日現在）
ホームページ　：https://www.fuji-oyama.jp/

2012年に町政施行100周年を迎えた小山町。富士のある町として、「富士をのぞむ 活気あふれる 交流のまち おやま」の実現に向けて、富士山をはじめとする豊かな自然とともに、金太郎生誕の地にふさわしい元気なまちづくりを、行政と町民が一体となって進めている。

JMS ジャパンメディアシステム株式会社 INTERNET & MULTIMEDIA SOLUTION

ジャパンメディアシステム株式会社
e-mail：liveon@jm-s.co.jp
URL：https://www.jm-s.co.jp/

本社　〒101-0021　東京都千代田区外神田2-14-10 第2電波ビル2F
TEL：03-3252-8111　FAX：03-3252-5234

大阪支店　〒540-6122　大阪府大阪市中央区城見2-1-61 ツイン21 MIDタワー22F
TEL：06-6947-6800　FAX：06-6947-6363

名古屋営業所　〒460-0003　愛知県名古屋市中区錦1-16-20 グリーンビル4F
TEL：052-202-1233　FAX：052-202-1088

仙台営業所　〒980-0014　宮城県仙台市青葉区本町1-5-28 カーニープレイス仙台駅前通6F
TEL：022-726-5080　FAX：022-726-5075

札幌営業所　〒060-0042　北海道札幌市中央区大通西12-4-78 ウエスト12ビル5F
TEL：011-206-1818　FAX：011-206-1572